

【ウェブクルー、最新の“車購入事情”調査を実施】

直近1年間における新車の購入率は約5割。

さらに回答者の約7割が『電気自動車（EV）に興味がある』と回答

「ズバット」を中心とした比較サイトを展開する株式会社ウェブクルー（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：藤島義琢）は、2022年2月に「ズバット 車買取比較」「ズバット 引越し比較」「保険スクエア bang! 自動車保険」利用者における『最新の“車購入事情”調査』を実施いたしました。

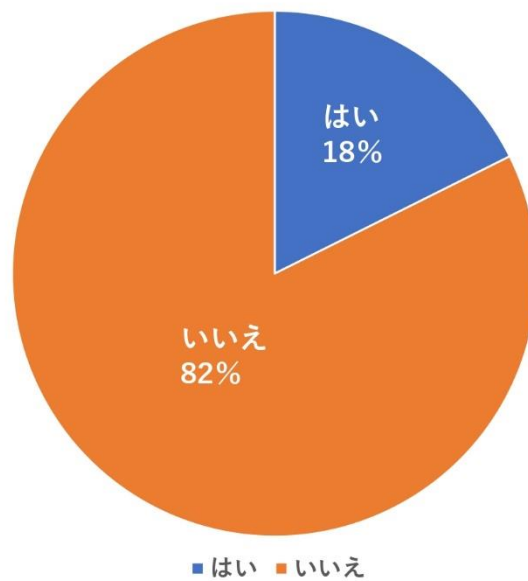
調査結果トピックス

- ・直近1年間（2021年1月～2022年2月）で車を購入した人のうち、新車を購入した人は52%、新車以外（中古車・新古車・未使用車）を購入した人は48%。
- ・新車を購入した理由としては「最新の車に乗りたかったから」「新車でしか購入したい車がなかったから」「長期間乗りたいから」が上位を占め、新車以外（中古車・新古車・未使用車）を購入した理由においてはおもに「車両価格が安いから」という理由が上位に。
- ・電気自動車（EV）における興味の有無について調査を行ったところ、67%の人が「所有していないが、興味がある」と回答、2%の人が「興味があり、すでに所有している」と回答。
- ・電気自動車（EV）に興味がある理由としては「ガソリン車より維持費やメンテナンスのコストが低いから」「環境に配慮したいから」「各種の補助金・減税が受けられるから」という回答が上位に。
- ・また、電気自動車（EV）において特に興味がある（もしくは所有している）メーカーや車名においては「日産」「トヨタ」「テスラ」をはじめ、国内外のメーカー、車名が多く挙げられた。

調査結果詳細

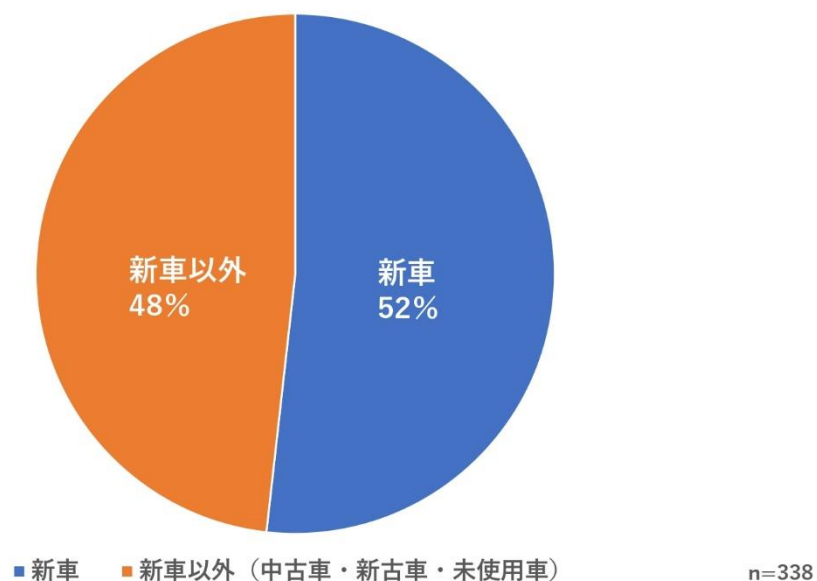
ウェブクルーの比較サイト「ズバット 車買取比較」「ズバット 引越し比較」「保険スクエア bang! 自動車保険」の過去利用者にアンケートを行った結果、「2021年1月～2022年2月現在のあいだで、自動車を購入しましたか？」という質問には18%の人が「はい」と回答しました。

Q. あなたは 2021 年 1 月～2022 年 2 月現在のあいだで、自動車を購入しましたか？



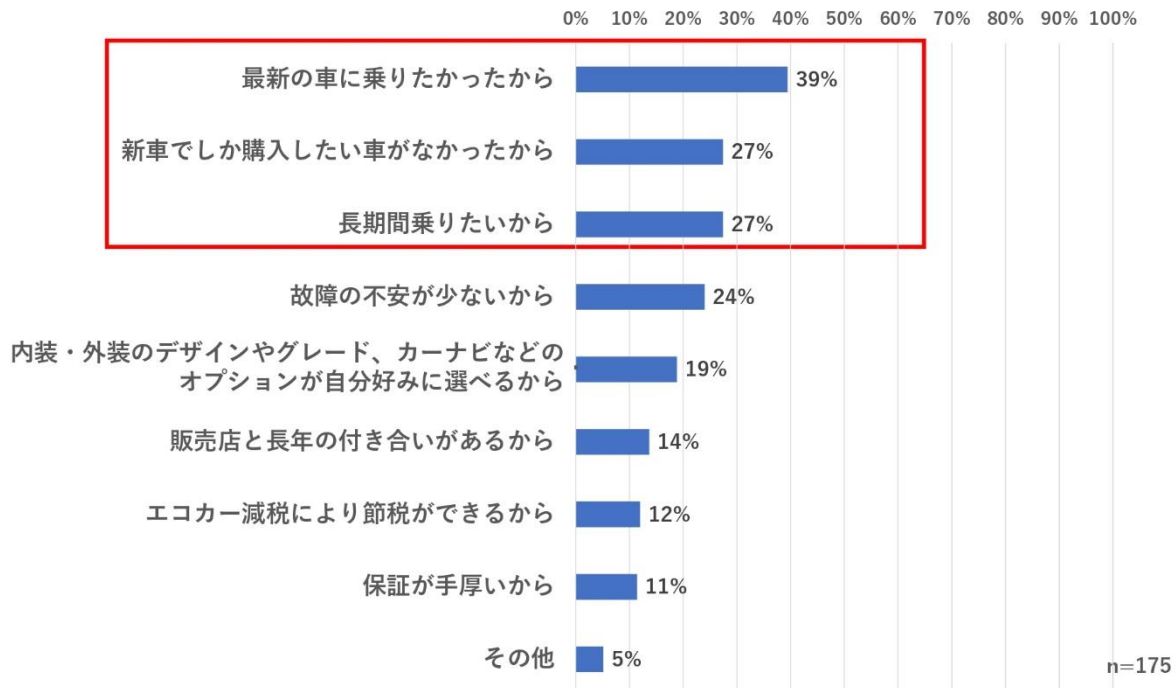
そのうち、新車を購入したのは 52%、新車以外（中古車・新古車・未使用車）を購入したのは 48%という結果になりました。

Q. 「あなたは 2021 年 1 月～2022 年 2 月現在のあいだで、自動車を購入しましたか？」に「はい」と答えた方にお伺いします。購入したのは、新車ですか？それとも新車以外（中古車・新古車・未使用車）ですか？



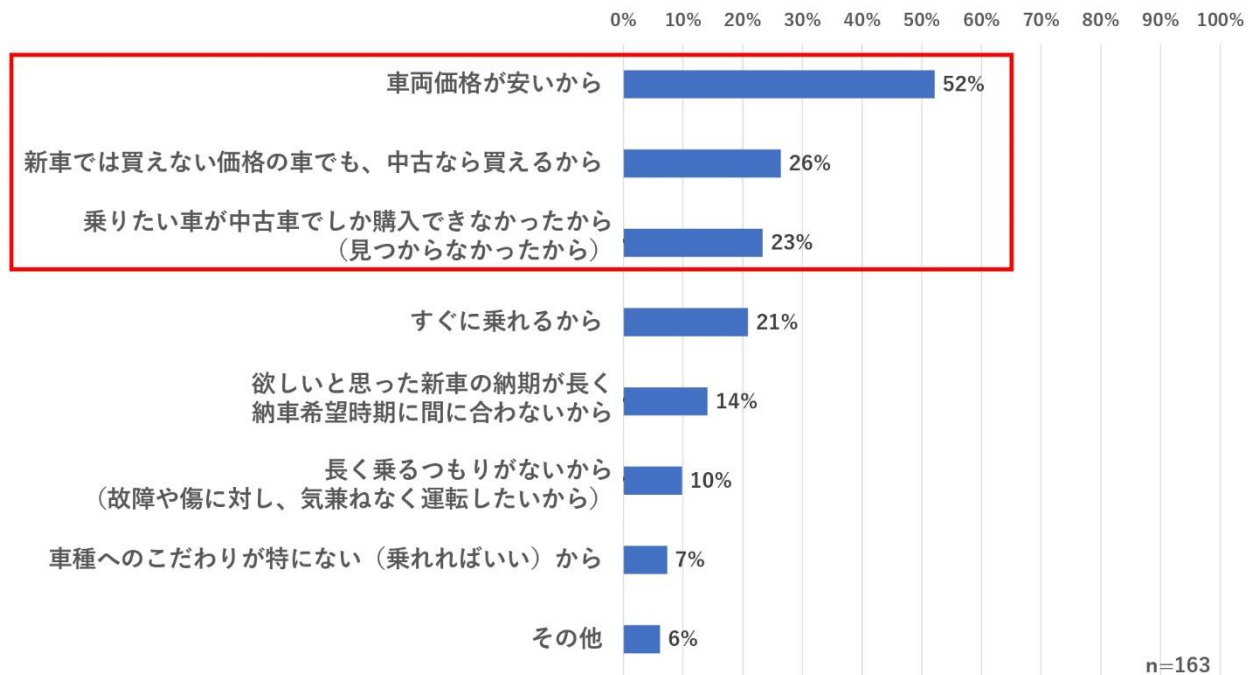
新車を購入した理由においては「最新の車に乗りたかったから」(39%)、「新車でしか購入したい車がなかったから」(27%)、「長期間乗りたいから」(27%)が上位を占める結果となりました。

Q.「新車」と答えた方にお伺いします。新車を購入した理由を教えてください。(複数回答)



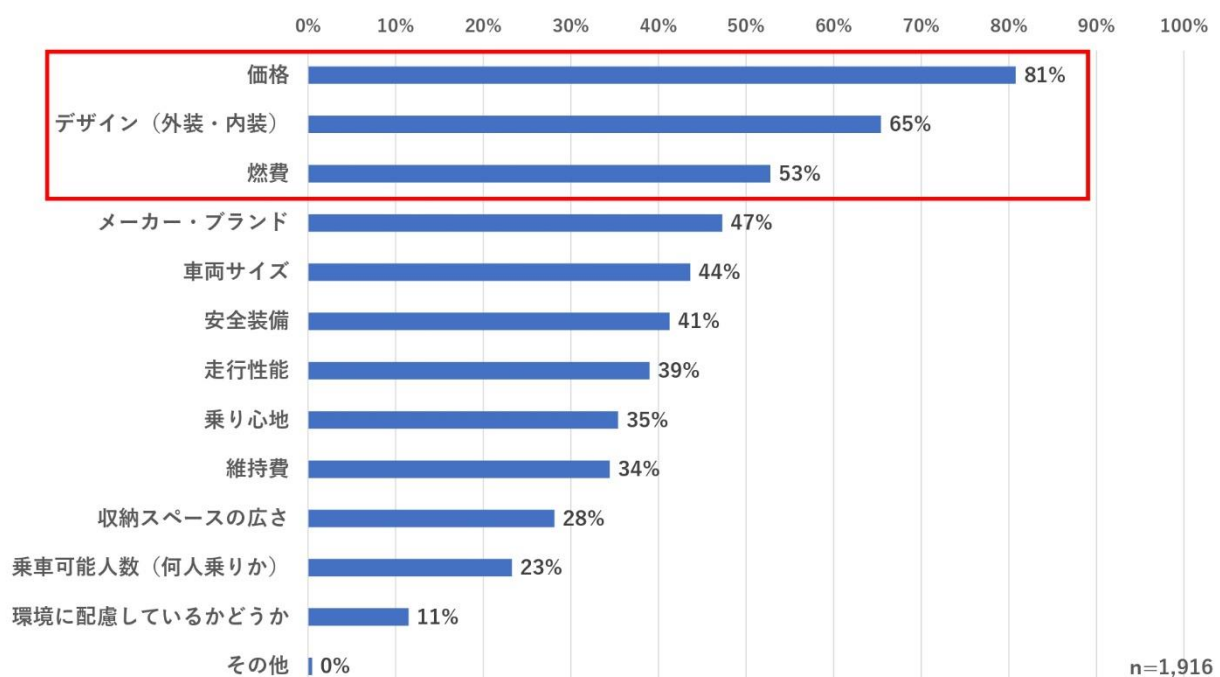
一方で、新車以外(中古車・新古車・未使用車)を購入した理由においては「車両価格が安いから」(52%)という理由のほか、「新車では買えない価格の車でも、中古なら買えるから」(26%)、「乗りたい車が中古車でしか購入できなかったから(見つからなかったから)」(23%)が上位を占める結果となりました。

Q.「新車以外(中古車・新古車・未使用車)」と答えた方にお伺いします。「新車以外(中古車・新古車・未使用車)」を購入した理由を教えてください。(複数回答)



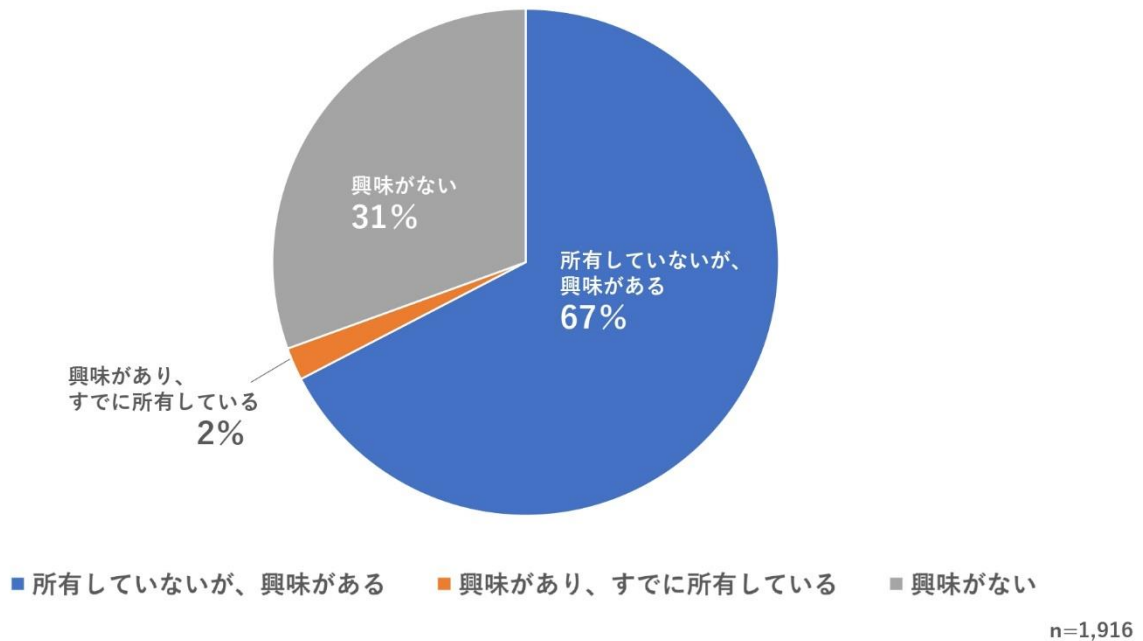
次に、自動車を購入する際の基準を調査したところ、最も重要視されるのは「価格」(81%)のほか、「デザイン (外装・内装)」(65%)「燃費」(53%)などが上位となりました。

Q.あなたが購入する車を選ぶ際の基準を教えてください。(複数回答)



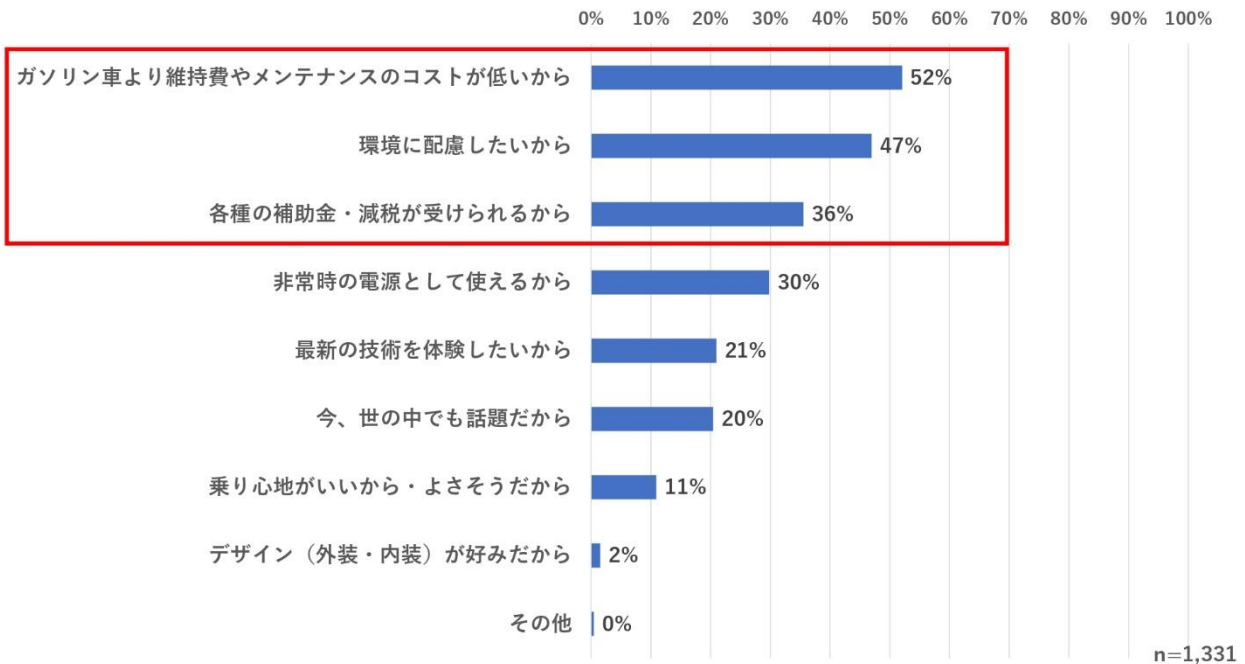
さらに、電気自動車（EV）における興味の有無について調査を行ったところ、67%の人が「所有していないが、興味がある」と回答、2%の人が「興味があり、すでに所有している」と回答しました。

Q.あなたは電気自動車（EV）に興味はありますか？



「電気自動車（EV）に興味がある」人に、その理由を調査したところ、「ガソリン車より維持費やメンテナンスのコストが低いから」（52%）、「環境に配慮したいから」（47%）、「各種の補助金・減税が受けられるから」（36%）という回答が上位を占める結果となりました。

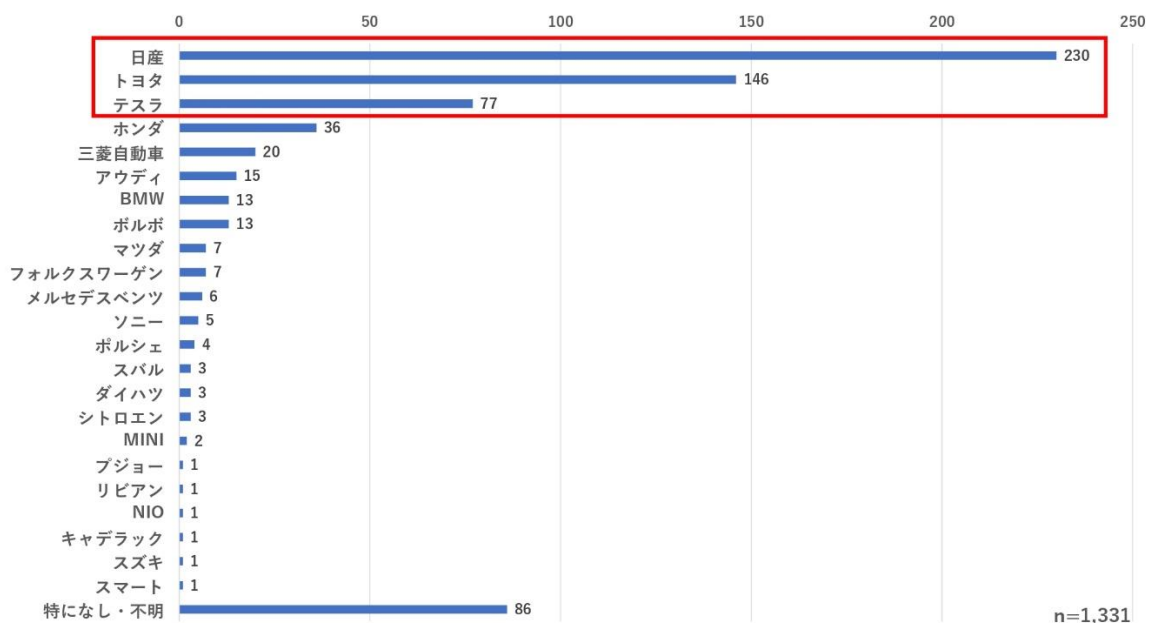
Q.「電気自動車（EV）に興味がある」と答えた方にお伺いします。その理由を教えてください。（複数回答）



さらに、電気自動車（EV）において特に興味がある（もしくは所有している）メーカーや車名を自由に回答してもらったところ、「日産（リーフ、アリアなど）」「トヨタ（MIRAI、bZ4X など）」「テスラ（モデル3、モデルS など）」「ホンダ（Honda e など）」「三菱（アウトランダーPHEV など）」をはじめ、多くのメーカー、車名が挙げられました。

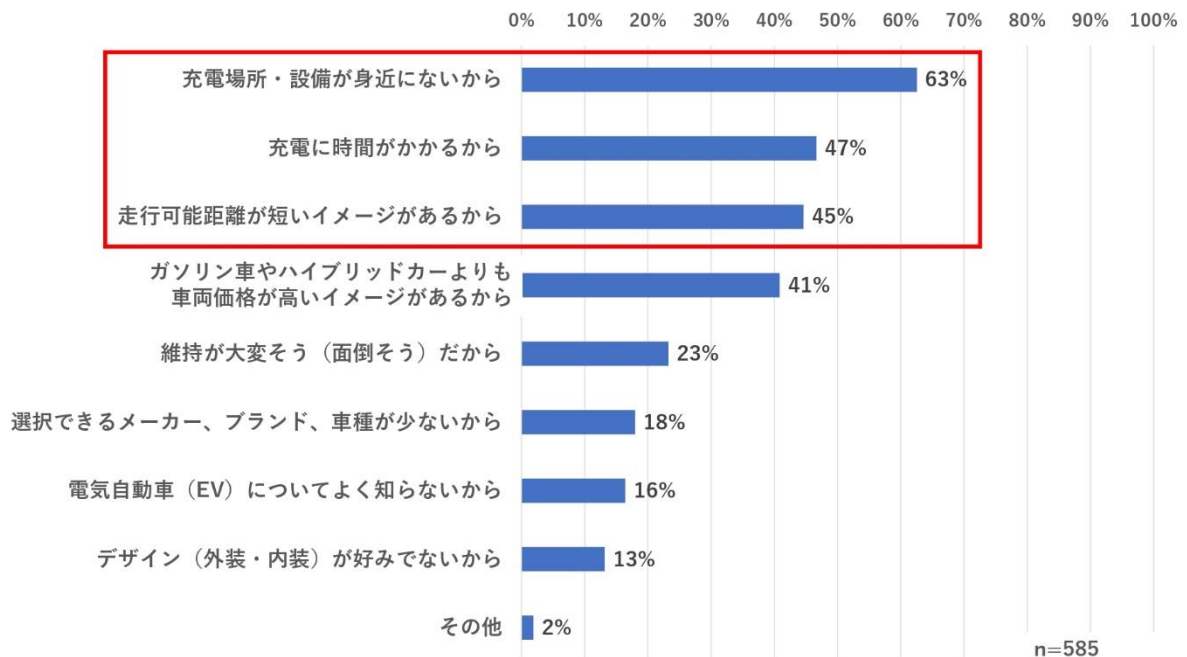
Q. 特に興味がある（もしくは所有している）メーカーや車名を教えてください。（複数・自由回答）

※集計はメーカー名で統一



一方で、「電気自動車（EV）に興味がない」と答えた人にその理由を調査したところ、「充電場所・設備が身近にないから」（63%）、「充電に時間がかかるから」（47%）「走行可能距離が短いイメージがあるから」（45%）という回答が上位を占める結果となりました。

Q.「電気自動車（EV）に興味がない」と答えた方にお伺いします。その理由を教えてください。（複数回答）



調査結果より

今回の結果より、車購入時に新車を選ぶ人においては「最新の車に乗りたい」「長期間乗りたい」というニーズが上位を占め、新車以外（中古車・新古車・未使用車）を購入した人においては「車両価格」を最も重要視するということがわかりました。また、新車・新車以外（中古車・新古車・未使用車）いずれの購入者においても、「新車であることを問わず、乗りたい車を購入する」ことを重要視する人が一定数見られました。

加えて、電気自動車（EV）における興味の有無について調査を行ったところ、「維持費・メンテナンスコスト」「環境配慮」「補助金・減税」などの観点から 67%の人が「所有していないが、興味がある」と回答、2%の人が「興味があり、すでに所有している」と回答しました。日本自動車販売協会連合会による 2021 年の「燃料別販売台数（乗用車）」では EV の販売台数は全体の 0.88%^{*1} という割合であることから、本調査の回答対象となった「ズバット 車買取比較」「ズバット 引越し比較」「保険スクエア bang! 自動車保険」の利用者は、EV への興味・関心度がより高い傾向にあることがわかりました。

さらに、日本政府は2030年までの次世代自動車の国内普及目標として50～70%を掲げており、そのうち、電気自動車に関しては20～30%の国内普及を目指しています^{※2}。経済産業省が発表した令和3年度補正予算「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」では、電気自動車（軽自動車を除く）において最大80万円、軽電気自動車では最大50万円の補助金支給が提示されました^{※3}。こうした政府の動きに加え、2022年は国内外のメーカーから電気自動車の新車種発売が予定されており、今後ますます電気自動車への注目度は高まると予想されます。

一方で、「電気自動車（EV）に興味がない」と答えた人からはその理由として「充電場所・設備が身近にないから」、「充電に時間がかかるから」、「走行可能距離が短いイメージがあるから」などの回答が多く、電気自動車の充電インフラ拡充に対する課題も見られました。

※1 出典：日本自動車販売協会連合会「燃料別販売台数（乗用車）」統計データ（2021年1月～2021年12月）

<http://www.jada.or.jp/data/month/m-fuel-hanbai/#>

※2 出典：経済産業省『電動車の普及とその社会的活用を促進するため、官民・企業間の協業を促す「電動車活用社会推進協議会」を立ち上げます』（2019年4月8日）

<https://www.meti.go.jp/press/2019/04/20190408008/20190408008.html>

※3 出典：経済産業省『令和3年度補正予算「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」』（2022年2月9日）

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/cev/cev3/cevinfrastructure.html

調査概要

- ・調査期間：2022年2月2日～2月7日
- ・調査対象：「ズバット 車買取比較」「ズバット 引越し比較」「保険スクエア bang! 自動車保険」の過去利用者
- ・有効回答数：1,916件
- ・男女比率：男性 1,572人（82%）、女性 324人（17%）、無回答 20人（1%）
- ・年代比率：10代 1人・20代 36人・30代 92人・40代 381人・50代 717人・60代以上 689人
- ・平均年齢：56歳

■「ズバット 車買取比較」概要

「ズバット 車買取比較」は全国的に有名な車買取業者から地域密着型の車買取業者まで、289社（2022年2月時点）の車買取業者が参加している、日本最大級の規模を誇る車買取比較サイトです。簡単な情報入力だけで最大10社の車買取業者に一括で査定を依頼することが可能です。また、中古車オークションでの取引データをもとに中古車の査定相場を独自に算出。車種ごとに査定相場を確認することができます。

日本全国どこからでも気軽に一括査定の依頼が可能、かつ査定を依頼できる車買取業者の数が多いため、高価買取の可能性が高まります。

URL：<https://www.zba.jp/car-kaitori/>

